

令和5年度6年生夏季合宿勉強会 印象記

合宿期間 2023年8月21日(月)～8月31日(木)

合宿場所 日本経済大学各施設

夏季合宿勉強会では、毎年、系列校である日本経済大学 福岡キャンパス（太宰府市）の施設を借り、実施しています。第一薬科大学からバスに乗り込み日本経済大学のオックスフォードハウスまで移動しました。今年度も日中の講義は本経済大学 福岡キャンパスの新館講義室で実施し、宿泊・夜間演習は学生寮オックスフォードハウスにて、早朝から深夜まで勉強できる環境を整えて実施しました。

2023年度の合宿勉強会は、36名の学生が参加しました。COVID-19が第5類へと分類され、コロナ禍依然と同様の夏を過ごせるようになったため、今年度の夏季合宿には多くの学生が参加することを想定していましたが、参加率は30%と2021、2022年度を下回る結果となってしまいました（2021年度：35%、2022年度：54%）。参加者の多くは成績中位の学生でしたが、「自身を変えて、何とか国家試験に合格してやろう」という意識を持った学生が多かったように思います。例年よりも成績上位者の参加が少なかったのですが、本年度の6年生は、3年生以降をコロナ禍で過ごしているため、一人での効率的な勉強法を確立したと実感する学生が多いためであろうと考えています。



(写真1 大学出発)



(写真2 オックスフォードハウスに到着)

合宿勉強会初日は、オックスフォードハウスのダンススタジオで、「入所式」「合宿前確認試験」を実施しました。合宿初日にテストを行うことで、「これまでの成果確認試験（卒業試験の一部）などで学んだ内容も完全に理解しているわけではない」ことを実感してもらい、合宿生活に対する意気込みを新たにしてもらうために一役買ったように思いました（実際、合宿後のアンケートではこのような意見が記載されていました）。令和4年度からは、予備校のみに講義を任せっきりにするのではなく、事前アンケートで選出された3名の本学教員による講義を行っており、終了後アンケートに

て、「再度受きたい先生の講義」にも本学教員の名前が挙がるなど好評のようで、一定の評価を得られていると思われます。



(写真3 ダンススタジオ外観)



(写真4 合宿前確認試験の様子)

合宿2日目から本格的に合宿が開始され、日本経済大学に移動し、日中に講義施設で本学教員、予備校講師による講習会を受講し、夜間は宿泊施設で教員による夜間演習に参加するという勉強漬けの生活がスタートしました。夜間演習は自由参加にも関わらず毎日ほぼ全員が出席しており、勉強への意欲を感じられました。講義施設でも宿泊休憩時間には後援会様からご提供いただいたウォーターサーバーを利用したり、お菓子をつまんだりして、勉強と休憩の時間を切り替えながら過ごしていました。



(写真4 日中講義風景)



(写真5 夜間演習風景)



(写真6 ウォーターサーバー利用)



(写真7 お菓子を選ぶ学生さん)

合宿期間中の中日である日曜日は、日本経済大学での日中の講習会はお休みです。その代わりに、ダンススタジオで本学教員による演習が午前中から行われました。日曜日でも寝坊する参加者は1人もおらず、演習にも積極的に参加していました。



(写真8 本学教員による日曜の演習)



(写真9 日曜の演習に参加する学生さん)

毎日頑張っている学生さんへのちょっとしたご褒美として、日曜日の昼食は少し贅沢に。オードブルやピザ、フルーツを準備しました。豪華なお昼ごはんはすぐに売り切れ。学生たちも笑顔であふれており、いい気分転換になったようでした。昼食後も引き続き演習に参加したり各自で復習したりと日曜日でも勉強モードが途切れることはありませんでした。



(写真10 昼食準備を手伝う学生さん)



(写真11 笑顔でピザを食す学生さん)

演習や質問対応などで合宿勤務に入っていただいた先生方の中には差し入れを持ってこられる方も多く、国家試験合格にむけた団結力を感しました。また、大学ではなかなか話しかけにくい先生ともコミュニケーションを取りやすくなっている様子でした。

合宿中は学生と教員との距離感が自然と近くなるため、合宿期間中は先生方に積極的に質問している姿が目にとまりました。合宿という特別な環境が、学生さんたちの積極性を引き出していると感じました。10日間という短かい合宿勉強会でしたが、国家試験合格を目標に他の学生と共に切磋琢磨してきました。ここで培った勉強へのモチベーションを国家試験当日まで維持してほしいと切に願っております。



(写真 12 教員からケーキの差し入れ)



(写真 13 予備校講師へ質問する学生さん)



(写真 14 講義最終日 集合写真 於 日本経済大学)